

ぼたんからじし
●牡丹唐獅子

ごとう めいのすけ
作者：後藤 縫之助

内陣



外陣

向拝



かちょう
●花鳥

ごとう めいのすけ
作者：後藤 縫之助



内陣

外陣

向拝



さんとうはっぽうにら りゅう さんびき かめ
●三頭八方睨みの龍・三匹の亀

ごとう めいのすけ
作者：後藤 縫之助

内陣

外陣

向拝



からすてんぐ うしわかまる

● 鳥 天狗と牛若丸

ごとう めいのすけ
作者：後藤 縫之助

内陣

外陣

向拝



らんていりゅうしょうきよくすい うたげ
●蘭亭流觴曲水の宴

いろくじ おとはち もろぬき まんごろう
作者：弥勒寺 音八・諸貫 万五郎

蘭亭曲水とは、中国の晋の時代 永和9年(353)3月3日、王羲之が会稽山の蘭亭において41人の文雅の士を集めて、曲がりくねった溪流に杯を浮かべて詩を作ったという風流な酒宴の様子を描写したものである。



らんていりゅうしょうきよくすい うたげ
● 蘭亭流觴曲水の宴②

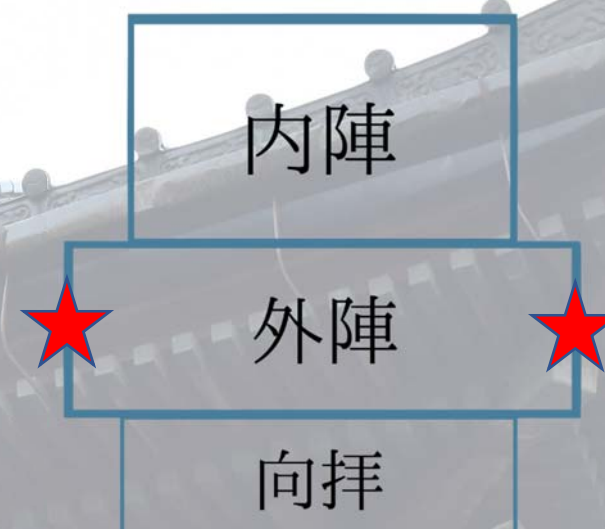
いろくじ おとはち
作者：弥勒寺 音八

もろぬき まんごろう
諸貫 万五郎



● 𪛗

作者：後藤 縫之助



𪛗は、一般に「夢を喰う動物」として広く知られ、江戸時代には「夢違えの𪛗」などと称し、正月に枕の下に𪛗の絵を敷いて寝る風習があった。𪛗の体型は獅子に似ているが、

腹は蛇腹、

鼻は象鼻で長く、二本の長い牙がある。

霊獣としての𪛗は、平和な時代にのみ生息できる動物とされる。

